

## にしとべの丘

ひさかた ひかり さくら  
「久方の光のどけき…」の桜とは？こうちょう いしかわ ひろし  
校長 石川 博

ねんど あらた がつ にち しぎょう にしちゅうがっこう めい しんにゅうせい むか ぜんこう めい  
年度が改まり、4月7日から始業しました。西中学校は60名の新入生を迎え、全校で180名  
ふんいき しどう めい きょうしよくいん てんしゆつ めい きょうしよくいん ふにん ことし にしちゅう しんせん  
となりました。9名の教職員が転出し、11名の教職員が赴任しました。今年も西中は新鮮な  
ふんいき しどう ほごしゃ みなさま ちいき みなさま ほんねんど ねが  
雰囲気で始動しました。保護者の皆様、地域の皆様、本年度もよろしく願いたします。

はる さくら きせつ わたし にゆうがくしき はなし さくら きゅうみんだ は はなし  
さて、春は桜の季節です。私の入学式での話も桜にちなんで「休眠打破」の話をしました。  
さくら こらい あい しよくぶつ こきんしゅう しゆ さくら かん うた  
桜は古来より愛されてきた植物で古今集には70首もの桜に関する歌があるそうです。

ひさかた ひかり はる ひ こころ はな ち  
久方の光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ

こきんしゅう きのとものり さく おぐらひやくにんいっしゆ なか ゆうめい うた  
古今集の紀友則の作です。小倉百人一首の中でも有名な歌ですね。もちろんここで言う「花」は  
さくら こらい やわ はる ひざ なか さくら はな ま おお しょうす  
桜のことです。柔らかな春の日差しの中、桜の花びらがはらはらと舞い落ちている。そんな様子  
しずこころなく み さくら ち みごと はなふぶき ことば わたし  
を「静心なく」見ている。桜は散るさまも見事です。花吹雪という言葉もあるくらいです。私た  
ちきのとものり め じょうきょう そめい よしの しろい はな ち ま おお すがた み  
ちは紀友則が目にした状況をソメイヨシノの白い花びらがはらはらと舞い落ちる姿を見ている  
のではないかと想像します。しかし、ここに大きな思い違いをしていることに気が付きません。

わたし しょうがっこう れきし てまえじゆぎょう ね た まる こ ぼーろ 「とうほうけんぶんろく」 はなし  
私が小学校で歴史の出前授業をするときのネタで、マルコ・ポーロの『東方見聞録』の話が  
あります。マルコ・ポーロは日本に来たわけではなく、中国の元にいたときに聞いた話をもとに  
きじゆつ せつめい たてもの じゆんきん ……  
記述したもの、という説明をしたうえで「ジパングは…建物は純金で…」というくだりについて、  
「日本で金の建物って何？」と児童に問うと「金閣寺（正確には鹿苑寺金閣）です」と元気よく答  
えてくれます。わたし よそうお こた うれ き まる こ ぼーろ  
えてくれます。私の予想通りの答えで、ちょっと嬉しい気になってしまいます。「マルコ・ポーロ  
げん じだい にほん かまくらじだい ひと きんかく なにじだい たてもの じどう  
は元の時代、日本でいう鎌倉時代の人です。金閣は何時代の建物かな?」。ここで児童は、はっと  
して自分が大きな思い違いをしていたことに気が付きます。

さくら はなし もど ひさかた うた へいあんじだい いっぽう わたし さくら だいひょうかく  
桜の話に戻ります。「久方の」の歌は平安時代です。一方、私たちが桜の代表格としている  
そめい よしの え ど こうき ひんしゆ きのとものり ち うた よ  
ソメイヨシノは江戸後期に作られた品種です。紀友則がソメイヨシノの散るさまを見て歌を詠んで  
いるはずがありません。

かんが わたし かって おも こ にちじょう おお  
よく考えてみればそうではないはずなのに私たちは勝手に思い込んでいることが日常には多  
くあるのではないのでしょうか。べんきょう ちしき たくわ かって おも こ で  
勉強して知識を蓄えていくと、このような勝手な思い込みが出て  
きます。やはり、ただ知識を蓄えるのではなく、「本当かな」「これはどういうことかな」というよ  
うにさらに調べてみる必要があります。がくしゅうしどうよりょう い たんきゅう ふか まな ただ  
知識を身に付けていく上でも必要なことだと思います。ひと昔前よりも調べることに關しては容易  
じだい ほんこう せいと ひとり だい たんまつ も きょうみ かん ようい  
にできる時代になりました。本校の生徒も一人1台の端末を持っています。興味があること、興味が  
ないこと、なんでも調べてみるときつと意外な発見があるし、理解が一層深まります。

## 挑戦の1年に!

<1年学年主任>

入学して2週間が過ぎました。授業が本格的に始まり、小学校のときとは違う勉強、委員会、部活動など、慣れない生活の中ではありますが、様々なことに一生懸命取り組んでいる姿が見られます。1年生にとっての4月は気も張りながらの生活で、自分でも気づかないうちに疲れがたまっている時期だと思えます。休めるときにしっかり休みながら、努力を継続させてほしいと思います。

さて、1年生には最初の学年集会で「熱」、「認」、「挑」ができる集団になろうと話しました。「熱」は、何事も熱く、真剣に、一生懸命に取り組める学年。「認」はお互いに認め合い、思いやりのある学年。「挑」は、それぞれが個性を発揮し、挑戦できる学年。1年生にとっては、中学校生活でのすべてのことが初めてのことであり、不安なこともたくさんあると思えます。ぜひ失敗を恐れずにたくさんのごことに挑戦し、それぞれが成長を感じられる1年にしてほしいと願っています。1年間よろしくお願ひいたします。

## Here we go!!

<2年学年主任>

始業式の並んでいる姿は体だけでなく、表情も1年生の時よりぐっと大人っぽくなって「成長してるな」と感じられる初日でした。新年度のスタートは、新しい先生と転入生を迎え、生徒56名で楽しく穏やかに過ごし、環境の変化に多少戸惑う様子も見られますが、それぞれが頑張ろうとする気持ちが伝わってくる日々です。1年生の時から、時間を意識して行動することができる学年でチャイム着席を守ることや遅刻が少ないことなどは継続することもできています。

2年生では、学級委員会で決定した学年目標「here we go!!」積極性をもって前に進むことを基本に全員でいろいろな活動を充実させてほしいと思います。最初の大きな行事である5月の自然教室では、学年の絆がさらに深まることにも期待しています。西中職員は昨年同様、一人ひとりの心を大切にしてい向き合い、サポートしていきます。

今年度もよろしくお願ひいたします。

一人ひとり、

一瞬一瞬が輝く一年間に

<3年学年主任>

3年生のみなさん、進級おめでとうございます。3年生として、学校での日々を今どのように過ごしていますか。この一年間、どうしても卒業後の進路や将来の自分の姿について考えていなくてはなりません。時には悩み、自分では答えを見出せないこともあるでしょう。自分と向き合う一年になることは間違いありません。自分の個性や想いを大切に、自分にとってベストな進路選択をしてほしいと願っています。先生たちは全力で皆さんと向き合い一緒に考えていく覚悟があるので、何かあったときは頼ってください。また、これからのことだけでなく、“今”“この瞬間”も大事にしてほしいと思っています。一瞬一瞬、何事にも一生懸命になってください。どんなときでも全力で、仲間には温かく、毎日を熱く過ごす3年生の姿を先輩たちに見せてほしいです。一年間、共に成長し、輝く緑学年を創っていきましょう。よろしくお願ひいたします。



## ごあいさつ <前副校長>

3年間大変お世話になりました。在籍中の多くの時間をコロナ感染症対策に追われながら過ごすことになり、保護者や地域の皆様と直接顔を合わせる機会もとても少なくなりましたが、お会いする方々からいつも温かい励ましの声をいただき、皆様に学校を支えていただいていることを常々感じながら過ごすことができました。ありがとうございました。今後も西中学校を見守っていただけると幸いです。

能見台小学校 校長 今井 健二